学校番号	312

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させ、芸術科書道では文字の表情の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
・漢字の書から、漢字仮名交じりの書、仮名の書等を体験し、自分らしい作品を書けるようになることを目指します。
・芸術としての書を、自身の表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちについて話し合い、表現の意味について考えます。
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性等について幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り、書の伝統に基づいて、効果的に表現するための基礎的な知識と技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想・表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想したり、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えている。	・主体的に書の幅広い活動に取り組もうとしている。 ・作品鑑賞などを通して，感性を高め，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書	・楷書及び行書の古典臨書を通じて，古典の書風に即した用筆・運筆，線筆，字形を理解する。 古典名 『九成宮禮泉銘』 『孔子廟堂碑』 『雁塔聖教序』 『顔氏家廟碑』 『蘭亭序』 『牛橛造像記』 『風信帖』 ・楷書及び行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成を工夫しながら，表現する。 『創作』	a:古典の特徴と表現効果と関わり，書体や書風と用筆・運筆の関わりについて理解している。 a:線筆，字形，構成等の要素と表現効果について理解している。 a:書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために，必要な技術を身に付けている。 b:古典のよさや美しさを感受し，構想し，古典の特徴や書風に即した，用筆・運筆・字形などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

二学期	仮名の書	・臨書を通して，古典（平仮名・変体仮名・片仮名）の書風に即した用筆・運筆，線筆，字形を理解する。 『いろは歌』 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，紙面構成を工夫しながら，表現する。 『蓬莱切』 『高野切第三種』 『関戸本古今和歌集』 『寸松庵色紙』 『升色紙』 『継色紙』	a：古典の特徴と表現効果との関わり，書風と用筆・運筆との関わりについて，理解している。 a：線筆，字形，構成等の要素と表現効果について理解している。 a：書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために必要な技術を身に付けている。 b：古典のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し，古典の特徴や書風に即した用筆・運筆，字形，墨継ぎ，全体の構成等を工夫している。 b：創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c：仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c：書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味・価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

三学期	漢字仮名交じりの書	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり，名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・意図に基づき，漢字(楷書・行書)と仮名，(平仮名・片仮名)の調和した用筆・運筆，字形、全体の構成を工夫しながら表現する。 『創作』	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて，名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質，字形，構成等の要素と表現効果について理解している。 a:目的や用途に即した効果的な表現，漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ，紙面構成，目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現，名筆を活かした表現や現代に活きる表現について構想し，工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:自身の表現の意図に基づく表現，漢字仮名交じりの書の特筆に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度